

国際食料情報学部

1. 教育研究上の目的

本学部は、世界と日本において、食や農に関する現場レベルでの問題解決と私たちが暮らす社会をより良くするための価値創造を行う。複雑な動きをする世の中で、効果的な解決策を見出すために、自然科学と社会科学の両分野にわたって理論だけではなく実践可能な研究と教育を行って、農業の持続的な発展と豊かな食生活の実現に貢献できる人材を育成する。

2. 教育目標

国際食料情報学部は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 主として熱帯地域の途上諸国への食料・農業開発のための国際協力を目指す者
- (2) 熱帯生物資源開発と保全のための、先端的技术を活用した熱帯農学の研究と教育を実践できる者
- (3) 環境保全型世界の食料・農業経済システムと資源循環型社会の構築に取り組む者
- (4) 日本と世界の地域特性を活かした共生型農業・農村発展のための社会経済理論の構築と政策提言等に取り組む者
- (5) 国際的視野に立つ食料の生産・流通・加工ビジネスとその関連産業からなる新しいビジネス領域としての「バイオビジネス」の起業と経営に、IT技術を駆使して取り組む国際的感覚を有する者

3. ディプロマ・ポリシー

国際食料情報学部は、世界および日本における食と農に関する問題の解決と地域社会や世界の発展等に貢献する人材を輩出するため、本学部の教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学・社会科学の両分野にわたる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、各学科の目的とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション力などの能力を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (3) 研究室における諸活動および国内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、広い視野、異なる文化への理解や関心、他者への柔軟性、自らの意思を適切に表現できる表現力あるいは語学力を有し、地域であるいは海外で、現場と連携・協働し活動しうる能力を身につけている。
- (4) 「農業」、「食料」、「環境」分野における「国際協力」、「技術」、「ビジネス」、「マーケティング」、「文化」、「教育」、「政策」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

4. カリキュラム・ポリシー

国際食料情報学部は、本学の教育の理念「実学主義」に基づき、食料・農業分野における総合的な教育を根幹として、実践的な専門知識・技術を修得し、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針の下に教育課程を編成します。

- (1) 広い視野から物事をとらえることができるように、人文科学・社会科学・自然科学の学科教養科目を学部共通で配当する。また、農学および関連分野の応用科目として4学科で重なり合うものを専門共通科目として配当する。
- (2) 課題探求力、情報収集力、批判的・論理的思考力、プレゼンテーション力などの能力を身につけるため、実験・実習・演習科目を効果的に配当する。とくに、本学部ではフィールドでの調査や実社会で体験できる実習科目を重視する。また、4年間の学修の集大成となる「卒業論文」を必修科目として配当する。
- (3) 各学科の専門性を深めて探求力を養うために、各学科のカリキュラム・ポリシーに基づいて専門基礎科目と専門応用科目を配当する。
- (4) 異文化理解および国際的視野を形成するための実践的な語学科目として、全学共通の基礎英語科目と実用英語科目を配当する。世界の多様な人々とコミュニケーションをはかる基礎を養うため、初修外国語科目として幅広い言語の科目を配当する。また、世界の多様な食と農に関する状況を理解できるような科目、日本の状況を世界に位置づけて理解できるような科目、海外で実習・研修できる科目を配当する。

5. アドミッション・ポリシー

国際食料情報学部は、人類共通の課題として提起された食と農の諸問題を地球規模的視野で捉え、これらの問題解決のために取り組む人材を養成します。そのため、本学部では、次のような学生を求めています。

- (1) 食料・農業分野を総合的に学ぶにあたり、基礎的学力と必要な知識を有している。
- (2) 「農業」、「食料」、「環境」分野における「国際協力」、「技術」、「ビジネス」、「マーケティング」、「文化」、「教育」、「政策」などに関心を持ち、地域社会や国際社会で活躍する意欲を有している。
- (3) 実験・実習・演習等に通じた学びに強い関心があり、多様な人々と協働して学ぶ姿勢を有している。
- (4) ある事象に対して多面的かつ論理的に考察して、自分の考えをまとめ、適切に他者に伝えることができる。